



志楽小学校だより

舞鶴市立志楽小学校
令和元年度学校だより
第 9 号
令和元年 11 月 29 日発行

かかわりの中で深まる学びを

季節の移ろいが早いように感じます。なかよし広場のイチヨウの葉もあっという間に色づいたかと思うと、みるみるうちに散ってしまいました。今年も残すところ、あとひと月。寒くなりましたが、運動場や体育館で大縄の練習をする子どもたちの元気な姿をよく見ます。

11月19日に本校の研究発表会を行いました。外国語活動を柱とし、「話す・聞く」を中心に国語科も合わせて、昨年度から進めてきた研究の成果を市内外の先生方に見ていただきました。これまで、子どもたちが進んでコミュニケーションをとり、堂々と意見を述べるようにするために教職員が一丸となって取り組んできました。

「朝は元気に good morning. いらないときは No thank you. . . .」朝、子どもたちは大きな声で「志楽英会話あいいうえお」を唱えます。朝の会では「コミュニケーションタイム」として、ペアやグループでテーマに沿って話し合ったり、スピーチをしたり、会話で成り立つゲームをしたりしながら、友達とのコミュニケーションを楽しみます。

外国語活動の授業では、担任が英語を駆使して、子どもたちの状況を見ながら ALT や英語加配と一緒に学習を進めています。担任は、子どもたちが進んで英語で会話ができるように、と考えて授業を行ってきました。また国語の授業でも、どの子も自信をもって自分の考えを伝えることができるようにと意識して取り組んできました。

研究発表会当日、子どもたちの生き生きとした表情や学びの姿を、参観いただいた先生方に評価していただきました。児童集会での委員会の発表や感想交流でも楽しげに話す子どもたちが増えています。一方で、あいさつの声が小さい子どもたちは依然として少なくありません。子どもたちがいつも、気持ちよくコミュニケーションをとることができるように、今後も、ご家庭や地域の皆さんの協力をいただきながら取り組んでいきます。

11月は、「人権月間」の取り組みを行ってきました。28日には人権学習の授業を参観いただきました。様々な取り組みの中で、友達の素晴らしさやお互いの違いを認め合いながら、自分も友達も大切にすることを学んでほしいと考えています。12月5日には人権学習まとめ集会を低・中・高学年に分かれて行います。人権について考えたことやかかわりの中で学んだことについて交流し、人と人のつながりを深めていきたいと思えます。

いよいよ2学期まとめの12月。これまでの様々な体験、学びを振り返り、それぞれが成長を実感できるように取り組んでいきます。今年は、かぜが早くから流行しているようです。うがい・手洗いの励行と「たっぷり栄養・ぐっすり睡眠」の声かけをおうちでもよろしくお願ひします。

校長 小森 昌子

教職員 一同

やりがい

「役割が人を作る」とよく言われます。これは、大人の世界だけでしょうか。

いいえ、それは子どもたちにも通じることです。

10月31日、来年度新入学児童の就学時健診を行いました。本校では、新入学児童1人に、来年度最高学年になる5年生1人が付き、校内の健診場所を案内するようにしています。5年生の子どもたちは、初めはペアになった子の隣に立ち、手はつなぐもののぎこちない動きでした。しかしながら、

健診が終わるころにはすっかり慣れ、やさしく手を引いたり話しかけたりする姿は自信にあふれていました。

また、最近、大縄跳びの練習が始まりましたが、1年生の縄のそばには、必ず6年生がいます。縄を回したり、跳びにくい子の背中をそっと押したり。できるようになったことを一緒に喜びその姿からやりがいを感じていることがうかがえます。

子どもたちがやりがいを感じることでできる機会を作っていきたいと思えます。